

販売名 ライカ ワイヤレス フットスイッチ

【形状・構造及び原理等】

本品は、手術用顕微鏡の特定の機能と設定（「フォーカス」、「ズーム」など）を足で無線により制御することを可能にする。

本品は 12 機能対応と 14 機能対応の 2 種類がある。

本品はワイヤレス フットスイッチとレシーバーユニットから成る。

・外観



寸法(±10%)

420×242×120（長さ×幅×高さ、単位：mm）

電気的定格

電圧(V) (+10%)	スイッチオン電流(mA) (±10%)
4.5 V（電池）	最大 30mA

電撃に対する保護の形式による分類：クラス I 機器

電撃に対する保護の程度による分類：B 形機器

【使用目的又は効果】

顕微鏡とともに使用し、顕微鏡の機能を追加することを目的とした機器をいう。

【使用方法等】

- ワイヤレス フットスイッチとそのレシーバーユニットは、他の医療機器との混同を防止するため、一意的にペアとして使用開始前にマーキングする。
- レシーバーユニットのプラグを、ライカ手術用顕微鏡の所定のソケットに差し込む。
- 手術用顕微鏡の電源を入れる。動作状態を示す LED が緑色に点灯する。
- ライカ手術用顕微鏡のコントロールユニットでユーザーブリセットをチェックする。
- ワイヤレスフットスイッチのすべての機能をチェックする。

【使用上の注意】

〔重要な基本的注意〕

- 本品はライカ手術用顕微鏡の動作の制御にのみ使用するものである。
- ワイヤレス フットスイッチは必ず密閉された室内で使用し、安定した硬い床面上に配置すること。
- 無線通信機器は、移動式、携帯式、固定式のいかんを問わず、ワイヤレス フットスイッチおよびその機能性に悪影響を及ぼす可能性がある。
- 本品と一緒に、他社製品のアクセサリ等を使用する際は、組合せて使用しても安全であることを確認すること。該当するアクセサリ等の取扱説明書の指示に従うこと。
- 本品の変更および保守は、必ず当社認定スタッフのみが行うものとする。

- ワイヤレス フットスイッチはポジションセンサーを備えている。ワイヤレス フットスイッチのボタンは、35 度を超える傾斜では反応しない。この自動安全機能を解除するには、ワイヤレス フットスイッチのいずれかの操作エレメントを 2 回操作すること。
- ワイヤレス フットスイッチを長期間使用しないときは電池を取り外すこと。
- ワイヤレス フットスイッチ内のトランスミッターユニットとレシーバーユニットとの無線カップリングは、必ず当社が行うものとする。
- 電池は LR14（タイプ C）（単 2 形 アルカリ乾電池）を 3 本使用すること。
- 電池を挿入する際は極性が正しいことを確認すること。
- ワイヤレス フットスイッチおよびレシーバーユニットの電池状態を示す LED がオレンジ色に点灯する場合は、ワイヤレス フットスイッチの電池を次の機会に交換すること。
- 常に 3 本の交換用乾電池（単 2 形 アルカリ乾電池）を手許に用意しておくこと。

【保管方法及び有効期間等】＊

〔耐用期間〕

正規の保守点検を行った場合に限り、製造出荷後 8 年〔自己認証（当社データ）による〕

【保守・点検に係る事項】

■ 業者による保守点検事項

項目	点検時期	点検内容
各部の清掃	12 ヶ月以内	外装部清掃
機能及び安全性確認	12 ヶ月以内	・ 破損状況 ・ 法定ラベル、連絡先の表示

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

ライカマイクロシステムズ株式会社

製造業者：

Leica Microsystems (Schweiz) AG（スイス）